



2月のこの時期は  
タイが暑期に入る直前のやや涼しい部類に入る期間ですので、  
時間を取れる方はタイ訪問は今がチャンスです。

それでは第32号に入ります。どうぞ宜しくお願い致します。

(こちらのメールマガジンは転送可となっています。  
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にどんどんお伝え下さい。)

何か新しいことを始めようと思われている友人の方、  
タイへ旅行計画を立てられている友人の方など

そのような方にもブログとメールマガジンはもしかしたら  
役に立つかもしれません。

ブログのリンク先の企業では  
日本語送迎サービスをしている企業などもあります。

さらに、「D-MARKマガジン」と言う  
タイ観光庁、タイ国際航空協力のフリーマガジンもあります。  
紙質がとてもよいものを使っています。

無料ですので是非手に取ってもらえたら幸いです。

<http://www.d-mark.jp/>

-----

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

まずはタイの総選挙結果で「国民の力党」が勝利しました。  
そして今週は内閣の顔ぶれも決まりまして、  
いよいよ本格的に  
「サマック首相による(タクシン氏による?)タイの政治が始まります。」

新聞等では旧タイ愛国党復活政治と書いてあるところも多く、  
重要なポストもまた旧タイ愛国党員で占められています。

初心者向けにお話すると

## <タイのこれまで>

2001年から誕生したタクシン首相率いる「タイ愛国党」：タイラックタイは2001年1月6日に下院総選挙にて、248議席を獲得し第1党となりました。その後も貧しい層への医療福祉政策や農村基金の設置、一村一品運動から始まり金融政策、経済政策、外交面でも活躍。

タクシノミクスと呼ばれる経済改革でタイ経済を復活させました。

ところが、  
資産隠し疑惑を筆頭に、  
王室への軽視発言、  
軍部に対する軽視、  
税金逃れスキームを作るなど、政策面では活躍したタクシン氏も徐々にその求心力を失っていきます。

2004年8月にはバンコク都知事選が行なわれて当時の野党第一党民主党公認候補のアピラック・ゴースヨーティン氏が当選しています。このあたりからバンコク都ではタイ愛国党の影響力が弱まっていました。

<次号に続きます。>

□□ No2 タイ株上級者編です ■■  
タイ株の上場企業詳細のコーナーを作りました。

●● コンケンシュガー・インダストリー(KSL) 032 です。 ○○

こちらタイの製糖事業大手でタイの食品セクターで上場しています。本社は味の素タイランドのあるすぐ近く。スィーアユタヤ通りにあります。

コンケンシュガーは砂糖の製糖事業をメインとしています。サトウキビ、糖蜜、を加工し分解工程を行って製品化。ラオスやカンボジアにも工場進出を発表しています。

2005年3月に上場しました。タイには大手製糖企業が7社あり、コンケンシュガーは製糖事業第4位の規模になります。さらにはKSLグループは製糖工場を運営している一方で発電、エタノール生産、肥料生産事業なども手掛けています'。

最大手はミトポンシュガーとなりますが、まだ上場していません。

□□ No3 タイ国内ニュース編です ■■

いよいよタイの新政権の顔ぶれも出揃ってきました。

下記が各閣僚の名前とポジションです。

〈首相 兼国防相〉 サマック・ストラウェート氏  
元バンコク都知事です。100万票をとって圧勝した経歴があります。  
料理番組でも圧倒的にタイの国民に知られています。

そして副首相は6人もいます。

〈文部大臣 兼副首相〉 ソムチャイ・ウォンサワット氏  
妻はタクシン元首相の妹になります。タクシン氏の義弟です。

〈商務大臣 兼副首相〉 ミンクワン・セーンスワン氏  
トヨタのタイ法人-MCOT社社長でした。

〈財務大臣 兼副首相〉 スラポン・スーブウォンリー氏  
タクシン旧政権では副保健相、情報通信技術(ICT)相などを歴任しています。

〈副首相〉 サハット・バンディクン氏  
サマック氏の妻の親戚となります。サマック都政で副都知事を経験しています。

〈副首相〉 サナン・カジョンプラサート氏  
退役陸軍少将で、副首相兼内相を歴任。チャートタイ党からの選出です。

〈工業大臣 兼副首相〉 スウィット・クンキッティ氏  
プアペンディン党を創設して党首になっています。2007年12月の  
下院選では落選しました。

〈外務相〉 ノパドン・パタマ氏  
ノパドン氏はタクシン元首相の疑惑や裁判案件を巧みに処理しました。  
2007年度軍部の追及や裁判所からの召集などに  
時間を稼いで今回12月の選挙の功労者の一人と呼ばれています。

タクシン派の国民の力党を軸として連立の6党が組閣に参加しています。  
閣僚の40ポストの内訳で、国民の力党が24ポスト。

残席16ポストは連立の5党に割り当てられました。

タクシン氏の側近であった人々が主要ポストを占めています。

今後は財政的な政策チーム、経済政策チームなどを  
取りまとめていよいよ始動するという流れになっています。

□□          No4 追伸です          ■■

2月再び日本へ帰ることになりました。  
<2月14日~~20日まで>  
その気温差およそ20度です。  
なんでも今年は関東も何回も雪が積もっているそうで・・・。  
ほぼ防寒具なしで成田へ帰国です。

タイではこれから真夏本番の暑さに入っていきます。

旧正月で過ごしたお正月が三たび4月にあるのです。  
年に3回もお正月がある国なんてタイランドくらいではないのか？  
と忘れてしまいますが・・・。

1月1日	通常の新年のあいさつ
2月旧暦のお正月	華僑系のお正月
4月13, 14, 15日	タイのお正月3連休 となります。

タイ現地に住んでいる日本人の方々は今から  
タイ正月の飛行機の予約チケットを確保しなければなりません。  
それほど混雑します。

タイの企業を詳細に解説した  
「タイ株完全マニュアル企業情報編41社」  
<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990500/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイ株取引をどうやって始めるかを解説した  
「タイ株完全マニュアル口座開設改訂版」  
<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990551/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイで働いた経験やタイビジネスをまとめた  
「タイビジネスは止められない」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4778200527/asianstocktha-22/ref=nosim>

そして  
タイの企業をデータよりもその背景を解説した  
「日本人が知らなかったタイ株」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

以上の書籍の感想等、  
読まれた方からも是非いただけると幸いです。

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

最後までお読みいただきましてありがとうございました！

阿部

---

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□□■□□□□□□□□□□

阿部 俊之  
TOSHIYUKI ABE

Managing Director  
ASEAN JAPAN CONSULTING Co.,Ltd.

TEL 001-66-81441-2303 (Direct Call)  
050-5539-5053 (IP電話)

E-mail [info@asean-j.net](mailto:info@asean-j.net) [abe@thaikabu.net](mailto:abe@thaikabu.net)  
(今後は電話でもメールでも受付いたします。)

Blog <http://toatoa.jugem.jp/>  
Homepage <http://www.thaistock.jp/>

<http://www.newsclip.be/blog/kabu/>  
ニュースクリップにてブログ連載中です。  
<http://worldinvestors.jp/>

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120  
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

ワールドインベスターズにて  
タイ株初心者コミュニティ管理人です。  
[http://www.adc-thailand.com/j-concierge/Thai\\_Kabu.html](http://www.adc-thailand.com/j-concierge/Thai_Kabu.html)  
ADCタイランドにて  
タイ株の解説しています。  
<http://www.panrolling.com/blog/index.html>  
パンローリングにて著者の会ブログに参加しています。  
<http://asiamoney.mag2.com/>  
まぐまぐ新興国株特集のブログも参加しています。  
□□□□□□□□■□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□  
メールマガジン 『日本人の98%は知らないタイ株投資!』

発行責任者： TOSHIYUKI ABE  
※公式サイトはこちら → <http://toatoa.iugem.jp/>  
Copyright (c) 2003-2008 Toshiyuki Abe. All rights reserved.  
□□□□□□□□□□□□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□  
○すみません解除はこちらからお願いいたします。○  
まぐまぐ→ <http://www.mag2.com/m/0000208900.htm>

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120  
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.